

## 〈建設キャリアアップシステム登録推進・窓口開設情報 ⑨〉

2018年10月5日

本部建設キャリアアップシステム担当発

### 1) 不足する技能者の確保は緊急課題、大手資本には早く対応する企業も 2/5

ゼネコンやハウスメーカーは直面する技能者不足の対策に本格的に乗り出しています。

大成建設(建築本部管理部長)は、従事している技能者のうち9割の本人情報をグリーンサイトに登録しているとし、協力会社によるキャリアアップシステムへの代行申請により技能者登録を飛躍的に進め、元請が技能者ひとりひとり、現場ごとに労働日数などの管理状況を直接把握し、適正な施工ができるようにする、としています。労使が建設産業の経済的な土台であるとともに認識するシステムによって「本人認証」が可能となり、そのことによって「材工」の一部として扱われてきた労働力が客観的に材料と区別され、資格と経験を反映した技能のレベルによる賃金獲得運動が可能となる新たな労働運動の第一歩を踏み出すことができます。(つづく)

### 2) 専門工事企業の見える化検討会が企業評価で中間報告案を示す 3/5

国土交通省は、9月20日に開いた「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」に、建設キャリアアップシステムに登録される技能者の就業履歴・保有資格をベースとして専門工事企業の施工能力、を見える化し、企業評価制度とする中間報告案を示しました。共通項目は、▽建設業許可▽建設業の営業年数▽財務状況等▽取引先▽社員数▽団体加入▽建設技能者の人数▽施工実績▽法令順守▽社会保険加入状況—の10項目で、「建設技能者の人数」では、システムへの登録人数や技能レベルごとの人数を示しています。選択項目は、施工能力を表す「建機の保有状況」「最大請負金額」「労働時間」(直近事業年度の1カ月平均の時間外労働時間)、「給与制度」(月給制、日給月給制)、「建設技能者の定着率」(技能者の勤続年数)など19項目。「協力会社」の項目も設けて、企業の動員力を評価する、としています。(つづく)

### 3) 山梨対策室も認定登録機関になる予定

東京土建山梨対策室(西多摩支部山梨分会)の室長、小路書記より認定登録機関になって、山梨の組合員拡大に活用していきたい、と申し出がありました。さっそく計画書、窓口承認申請書、開設リスト、管理者・入力者リストの用紙を送信しました!

### 4) ポスター改訂版を支部へ送ります。

各支部8~9枚を10月3日に発送します。支部会館掲示や、学習会で張り出してご活用下さい。

### 5) 本部と先行の4支部のシステム機器の設置日が決まりました!

すでに4支部には連絡済みと思いますが、システム機器を設置する事業者の富士フィルムイメージングシステム(株)の担当:山本氏より10月3日、設置を下記の日にしたと連絡がありました。

10月10日(水):本部 10月12日(金):港、練馬、西多摩 10月30日(火):西東京

設置後は試行期間として、支部四役常任執行委員向けの申請書説明会や個別の書込み相談を行い、入力をすすめてみましょう。本部でも拡大オルグ支部担当書記中心に支部へ行き、登録実務をすすめるようにします。[業者の「お問合せセンター」は 03-6386-3725 otoiawase@mail.ccus.jp]

以上